

2025年度刑務官採用試験

実技試験の実施方法は次のとおりです。

- 刑務A（武道）区分、刑務B（武道）区分において実施される実技試験（柔道・剣道）は、昇段審査形式の「自由稽古」を実施します。
 - 剣道を選択した受験者は、①又は②のいずれかを持参してください。

①面マスク

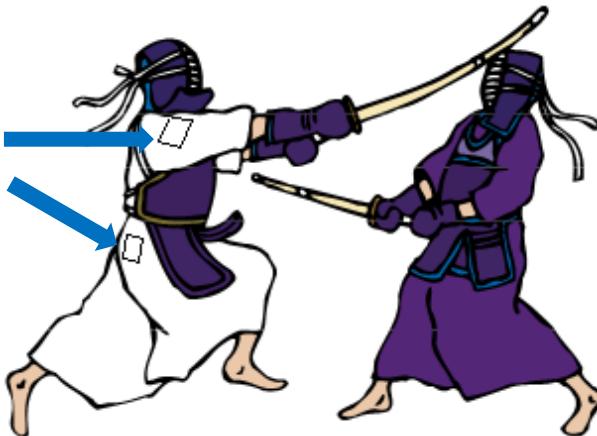
②シールド（一体型、個別型のどちらでも可）
 - 柔道を選択した受験者は、マスクの着用は個人の判断でお願いします。
- ※ 試験中は換気のため、適宜、窓やドアなどを開けます。
携帯用手指消毒用アルコールをお持ちの方は、持参しても差し支えありません。
- ※ その他の注意事項については、次ページをご覧ください。

刑務官採用試験 刑務A(武道)区分・刑務B(武道)区分 実技試験について【剣道】

○竹刀等

- 1 試験当日、全日本剣道連盟剣道試合審判規則で定められた規格を満たす竹刀（つばを含む）、剣道具、剣道着及び袴（以下、「竹刀等」といいます。）を持参しなかった場合は、試験が受けられません。
- 2 試験の公正性や個人情報保護の観点から、竹刀等には、氏名、学校名、企業名等の明記のないものにしてください。明記がある場合は、白い布を縫い付けてあらかじめ分からないようにしてください。

氏名、学校名、企業名等の個人情報は、白い布を縫い付けて隠す。
(防具の氏名等も同様)



- 3 全剣連主催の審査会同様、面マスク又はシールドのいずれかを持参してください。

○当日の流れ

徒手体操
ストレッチ体操
素振り（準備運動）



自由稽古

○留意事項

次の受験者は、試験が中止（不合格）となります。

- 相手に危害を加えるような危険な技を行った者
- 実技の基礎が全くできておらず、けがをするおそれのある者
- 危険な行為その他の理由により他の受験者に危険を及ぼすおそれのある者

受験に当たって、けがには十分に気をつけてください。

※ 試験実施に当たっては、けがの防止に注意を払っていますが、各自でも保険証の持参等お願いします。